

2025 年度 新興感染症制御研究拠点 共同研究公募要項

長崎大学高度感染症研究センター

高度感染症研究センター（長崎大学附置研究所）は、2022 年度に共同利用・共同研究拠点「新興感染症制御研究拠点」として文部科学省から認定を受けています。

本拠点では、有効なワクチンや確立された治療法がなく致死率の高い感染症並びに新興感染症について、全国の研究者が当センターの研究者と共同で BSL-4 施設や海外拠点等を活用した基礎研究・応用研究を実施することにより、世界の高致死性感染症および新興感染症の制御に貢献することを目指します。また、当該分野の研究を推進できる人材の育成にも努めます。この目的を達成するために、次のとおり 2025 年度の共同研究課題を公募します。

当センターでは 2023 年度にブラジル連邦共和国北東部のレシフェ市にあるペルナンブコ連邦大学ケイゾウ・アサミ研究所に海外研究拠点を設置しており、このブラジル拠点を活用した感染症研究も本共同研究において募集いたします。

なお、BSL-4 病原体に関する研究に関しましては、BSL-4 病原体を安全に取扱うことができる BSL-4 施設が現在運用準備中ですので、当面は代替実験系等を用いた共同研究を当センターの研究施設（BSL-2、BSL-3 実験室を含む）で実施していただくことになります。また、本拠点における共同研究の対象は、病態解明が進んでおらず、一旦発症すると治療が困難な BSL-2、BSL-3 病原体による感染症（例えば脳炎や出血熱など）も含まれます。

1. 共同研究課題

高致死性感染症・新興感染症について、本センターの教員と共同で、本センターの研究施設（BSL-2、BSL-3 実験室、ブラジル拠点を含む）及び設置機器を活用する基礎及び応用研究プロジェクトを募集します。

※予算執行期間：2025 年度中

2. 申請可能額及び配分額の決定

申請額は原則として年間上限 100 万円（採択件数によっては、配分額が申請額を下回る場合があります）とし、旅費、消耗品費等が対象になります（研究成果発表会に参加するための旅費は、配分額の中から支出をお願いします）。申請書の審査に基づいて配分額を決定します。申請内容及び本拠点に配分される予算総額に応じて配分額を決定するため、申請額から増減することがあります。

3. 申請資格

研究代表者は大学の教員、その他研究機関に所属する研究者又はこれに準ずる機関の研究者とします。なお、研究組織に大学院学生を含めることができます。

4. 申請方法

(1) 研究代表者は、あらかじめ本センターの受け入れ教員と共同研究の内容についてメール等で十分な打合せを行った上で申請してください。原則として、同一の研究グループからの申請は 1 件のみとします。（同一の研究グループであっても研究テーマが異なる場合は申請可）

(2) 申請書類（提出部数1通，当センターホームページからダウンロードできます。）
高度感染症研究センターホームページ：<https://www.ccpid.nagasaki-u.ac.jp/20241127-2>
新興感染症制御研究拠点 共同研究課題申請書

(3) 申請書提出期限

2025年2月12日（水）期限厳守

(4) 申請書提出先（PDF ファイルのメール送付，あるいは郵送）

PDF ファイルを添付メール（メールのタイトルに「共同研究申請書添付」と記載のこと）で長崎大学研究国際部感染症研究支援企画課【bs14_soumu@ml.nagasaki-u.ac.jp】まで送付ください（添付は5 MB まで可能。超える場合には上記のメールアドレス宛にご連絡ください）。メールの場合には，必ず受け取りの返信をご確認ください。郵送の場合は，封筒の表に「共同研究申請書在中」と朱書してください。

〒852-8523 長崎市坂本 1-12-4

長崎大学研究国際部感染症研究支援企画課

（電話：095-800-4302）

5. 採否

採否については，2025年3月末までに申請者へ通知する予定です。

6. 共同研究の報告

共同研究の申請者（代表者）は，2026年4月10日（金）までに，所定の様式による報告書を，長崎大学研究国際部感染症研究支援企画課へメールで提出してください。

本報告書は本センターホームページ上で公表しますが，一定期間の非公開を希望する場合には，所定欄にその理由を明記することで，原則として3年以内，最長5年間まで非公開とします。

7. 知的財産権の取扱い

本共同研究の実施により生じた知的財産権の取扱いは，長崎大学共同研究規程を準用します。

8. 謝辞

学術論文等で研究成果を公表する際には，必ず謝辞（Acknowledgements）欄等に，本共同研究において本センターの施設を利用した等を付記してください。英文例は以下の通りです。

This work was partly conducted in the cooperative research project program of the National Research Center for the Control and Prevention of Infectious Diseases, Nagasaki University.

なお，成果についてはメール等でご連絡いただくとともに，論文別刷（PDF 可）1部を長崎大学研究国際部感染症研究支援企画課へ提出してください。

提出いただいた報告書，発表論文はセンターの活動報告書，ホームページ等に掲載する予定です。特に顕著な成果についてプレスリリース等の広報を行う際には，事前に情報公開の可否について照会を行ったうえで調整させていただきます。

共同研究に供される機器・施設等

研究棟 機器			
3階	FV3000	共焦点レーザー走査型顕微鏡	オリンパス
	FV10i	共焦点レーザー走査型顕微鏡	オリンパス
	超音波発生器UD-211	超音波発生器	トミー精工
4階・5階共通 実験室	MAX-TL	卓上型超遠心機	ベックマン・コールター
	UD-211	超音波細胞破碎機	トミー精工
	ATTUNENXT	フローサイトメーター	サーモフィッシャーサイエンティフィック
	FACS Melody	セルソーター	ベクトン・ディッキンソン
	SpectraMax iD5	マルチマイクロプレートリーダー	モレキュラーデバイス
	StepOnePlus	リアルタイムPCR	アプライドバイオシステムズ
	AB3500R	DNAシークエンサー	アプライドバイオシステムズ
	iBright CL1500 Imaging System	ゲル/メンブレンイメージャー	サーモフィッシャーサイエンティフィック
	EVOS M5000	蛍光顕微鏡	サーモフィッシャーサイエンティフィック

研究棟 特殊空調施設			
6階	BSL3 施設	実験機器	超遠心機、高速遠心機、CO2インキュベーター、安全キャビネット、冷蔵庫、超低温フリーザー等

なお、これ以外の機器類についてはセンター教員にお問い合わせください。